

献呈の辞

法学部長 中村 達也

渡辺中先生は、この度、目出度く古稀を迎えられ、今年3月をもって定年によりご退職されることとなりました。昭和57年4月に国士館大学に奉職され、以来36年の長きにわたり、本学の教育、研究、行政にご尽力され、多くの卒業生、修了生を社会に送り出してこられました。法学部の学生、教職員を代表して、古稀のお祝いを申し上げますとともに、法学部の発展に貢献されましたご功勞に心より感謝申し上げます。

法学部は、昭和41年4月に開設され、一昨年（平成28年）4月をもって開設50周年を迎えました。平成13年には、法律学科に加え、現代ビジネス法学科が設置され、2学科体制となりましたが、渡辺先生は、平成14年4月から平成15年3月までこの現代ビジネス法学科の学科主任を務められ、新しい学科の立上げにご尽力されました。またそのほか数々の要職を務められ、平成11年4月から平成13年3月まで学生主任を、平成16年4月から平成18年3月まで大学院法学研究科主任を、続く平成18年4月から平成22年3月まで教務主任を、そして、平成22年4月から平成26年3月まで法学部長を歴任され、学部運営に多大な貢献をされました。

また私事ながら、渡辺先生の在職中、専門分野が異なることもあり、渡辺先生に接する機会はあまり多くはありませんでしたが、教員として未熟な私に、とりわけ、教歴もなく本学に奉職した当時、教育面において温かいご指導とご鞭撻を賜り、感謝に堪えません。そして、先生がご退職されるのは、大変お名残惜しい限りです。

現在、法学部は開設51年目に入りましたが、我々を取り巻く環境は急速に変化しており、とりわけ、出生率の低下などを背景に、人口が減少し続け、この少子化に伴ういわゆる2018年問題、大学進学者の大幅な減少と

いう深刻な事態を迎えようとしています。法学部では、このような環境の変化に対応すべく、学部教育改革を進めております。渡辺先生をはじめ、先達の先生方が築き上げられた法学部の伝統を守りつつ、法学部の更なる発展に向けて努力を重ねていく所存でありますので、渡辺先生、どうか今後とも我々法学部教員へのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、渡辺先生の本学に対するこれまでの貢献に心より感謝申し上げますとともに、先生の今後の益々のご健勝とご活躍を祈念し、本退職記念号の献呈の辞とさせていただきます。